



伊丹市議会議員 おおつる 求 の活動報告



子ども医療費助成制度の「所得制限」を撤廃

今年7月から中学生まで「完全無償化」へ

一方、障害者医療費助成の拡充は進まず。

昨年7月から「所得制限付」で中学生まで通院・入院無料となった本市。

本年7月からは所得制限が撤廃され、医療費「完全無償化」が実現する。

また、新たに高校生世代の入院費も無償化するなど、子育て世帯の大幅な負担軽減に取り組み、若年層の転入促進、人口増を目指す。

年 齢 (学 年)	自己負担			
	通 院		入 院	
	所得制限内	所得制限外	所得制限内	所得制限外
0歳	無 償			
1歳～中3	無 償	助成制度なし ↓ R5.7月～無償	無 償	助成制度なし ↓ R5.7月～無償
高校生 世代	助成制度なし		助成制度なし ↓ R5.7月～無償	

障害者医療費助成制度の拡充が、本市の課題

	身体				療育		精神		所得制限 世帯合算
	1級	2級	3級	4級	A	B	1級	2級	
県	○	○	×	×	○	×	○	×	合算あり
伊丹	○	○	×	×	○	×	○	×	合算あり
尼崎	○	○	○	×	○	○	○	○	本人所得
西宮	○	○	○	▲	○	▲	○	○	合算あり
芦屋	○	○	○	×	○	○	○	○	合算無し
宝塚	○	○	○	○	○	○	○	○	合算無し
川西	○	○	▲	×	○	▲	○	▲	合算あり

2022.7.1 現在

阪神間の現状。ピンク色は独自拡充。▲は一部拡充等。

一方、障害者医療費助成制度の拡充は、今回も進まなかった。

阪神間の他自治体は、県制度に独自で上乗せし、対象拡充や所得制限の条件緩和をしている。

本市も助成対象を拡充していたが、2006年に市長が行財政改革の一環で削減しただけに、これは「財源」ではなく「市長の政治姿勢」の問題だと考える。

今後も、早期拡充を求めていく。

3月議会 アレコレ

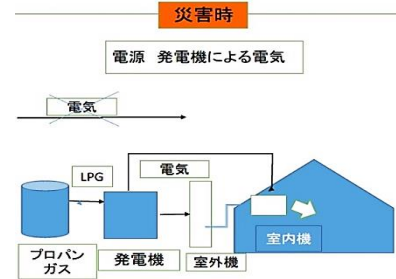
来年度予算審議もおこなった3月議会。
その中で身近な話題をピックアップ。



体育館に空調設備を設置

避難所環境の充実のため、モデル事業として神津小学校体育館に72時間自立運転が可能な空調機器を設置する。

災害時の稼働切り替えや発電機の稼働音など、学校施設内外の環境を調べると共に、猛暑時の体育授業や行事等で快適性が保たれるのか、機器の設置数量や位置、設定温度等を検証する。



花火大会 膨らむ安全対策費

8月第4土曜日に猪名川河川敷で開催予定の「いたみ花火大会」。新型コロナウイルス感染症の状況に加え、来場ルート、交通規制について関係機関と協議を行う。予算ベースで花火打上費が約800万円に対し、警備員等の安全対策費が約2170万円と膨らむ一方だ。

部活動の地域移行はじまる

市内8中学校で行われている部活動の地域移行が始まる。

中学生にとって部活動は貴重な経験である一方、

近年は顧問教師の過重労働が問題となっている。

1校1部活の「休日活動」に限り、地域クラブ活動とする試みを始め、「中学校部活動の地域移行に関する協議会」で検証や諸課題について協議する。

今後は、段階的な地域移行に向けた体制づくりや、指導者の確保等の検討を行い、円滑な地域移行を目指す。



厳しい市営バスの経営

コロナ禍で、本市の重要な社会基盤である市営バス経営が危機的な状況だ。行動制限があった2020年度の乗車収入は、前年同時期比50%減収。その後、徐々に回復しているものの、2022年度はコロナ禍前の8割に留まっている。

加えて原油・物価高の影響もあり、ダイヤ改正など交通局の経営努力だけでは限界にきている。「市民を安全に目的地まで送り届け続けるため」に近い将来、料金改定が避けられない状況だ。

伊丹シティホテル営業終了

1987年に本市と市内57企業の出資により開業した伊丹シティホテル。昨年6月の株主総会で、今年3月末に営業終了が決定された後も、市は営業継続の可能性を探り、様々な調整を行ってきた。ただ老朽化が激しく、改修費用（20～30億円）の圧縮が難しいため、存続について伊丹シティホテル(株)と合意に至る事業者は無かった。今後、債権者である伊丹産業(株)が、土地・建物は取得することが見込まれるため、市は地域貢献や中心市街地に資する活用を申し入れる。



デジタルミュージアムでより広く、深く



博物館事業に「博物館資料をデジタル・アーカイブ化し公開する」ことが法改正で追加されたことを受け、伊丹ミュージアムと伊丹市昆虫館を「バーチャルミュージアム化」してWeb公開する。旧岡田家やチョウ温室のVR化や、所蔵作品・資料を解説するコンテンツを作成し、いつでも誰でもオンラインで鑑賞や学習ができるようになる。

統合新病院整備工事始まる

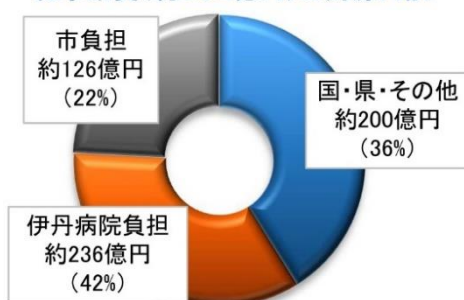
近畿中央病院との統合新病院整備工事は、3度目で落札された。落札者は新庁舎建設と同じ「大成建設」。一社入札、落札率100%。物価高や関西万博等の影響で、費用は当初予定の1.5倍になった。来年度から医療提供を継続しながら建設工事に着手。2026年度開院、2027年度グランドオープンを目指す。

また、1月に公立学校共済組合の新理事長と藤原市長が話し合い、統合新病院整備工事の早期着手と、近畿中央病院跡地へ回復期病棟を有する民間病院誘致に向けた取り組みを進めていくことを、改めて確認した。

件名	統合新病院整備工事
場所	伊丹市昆陽池1丁目100番他
入札・見積 執行日時	令和5年2月15日 10時00分
入札方法	制限付一般競争入札
工期	契約締結の日から令和10年3月31日
予定価格(税抜き)	¥41,716,000,000—
最低制限価格(税抜き)	¥38,378,720,000—
概要及び参加資格	入札公告の通り
担当課	市立伊丹病院事務局 総務課
落札者	大成建設株式会社 神戸支店
備考	入札参加者有り

[財源と事業費の内訳]

総事業費(約562億円)の財源内訳



事業費内訳

a. 設計・監理費	約 13 億円
b. 建物移転補償費等	約 15 億円
c. 建築工事費	約 462 億円
d. 医療機器等	約 72 億円
総事業費	約 562 億円

フォト・ダイアリー ～日常の一コマ～



[写真説明 左上から時計回り]

- 稲野自治会もちつき大会。はじける笑顔の時間。
- 狭山事件の再審を求める関西キャラバン
- 大手前大学跡地へ大規模マンション建設に対し良好な住環境を求める地元住民と市の話し合い。
- 「武力行使反対」を求めるスタンディングも1年。終わらないから終われない現実。
- 議会報告会終了後に中川智子前宝塚市長と。



令和 5年 令和 4年 令和 3年 令和 2年 令和元年 平成31年 平成30年 全年

映像

令和 5年 3月定例会 (第6日 3月 2E)

大津留 求 (フォーラム伊丹)

再生 (0:09:47)

再生 (0:51:09)

再生 (0:15:31)

1. 生活福祉資金の特例貸付 (コロナ特例貸付) 貸付の状況、市の取り組み

2. 公共工事受注事業者・下請事業者の関係、市の発注者責任から、出来ることを考える

3. 重度障害者医療費助成制度について、阪神間他市並みに助成対象を拡大した場合の市の政策判断

通告質問に対する答弁

2期8年間、様々な課題を本会議質問することで浮き彫りにしてきました。それら質問動画は議会ホームページで視聴できます。是非、ご覧ください。

市政に対するご意見や疑問、お聞かせください。困ったこと、悩んでいること、一緒に考えましょう。

大津留 もとむ
伊丹市議会議員 おおつる 求

090-8122-7114 <http://ootsuru.com>



【プロフィール】1971年福岡県大牟田市生まれ。稲野町在住。
 ■近畿大学法学部法律学科卒 ■国際交流NPOスタッフとして「地球一周の船旅」参加 ■中川智子衆議院議員(前宝塚市長)秘書 ■建設従事者の組合・阪神土建労働組合書記局に入局
 ■2015年の市議選に社民党公認で当選。2019年に再選、2期目 ■会派「フォーラム伊丹」 ■稲野自治会役員 ■防災士

日々雑感

- 忘れない。今年も極寒の昆陽池公園でロウソクを灯した28回目の1・17。
- 死刑判決の袴田巖さんが無罪へ。名誉回復も、50年の時間は戻らない。
- 際立つ存在感。新庁舎建設時に、伐採から逃れた一本のクスノキ。圧巻。
- 行き過ぎたグローバル化、同調圧力、社会の貧困、子どもの人権…。見えにくかった現状を可視化したコロナ禍。
- 配膳ロボが料理を運ぶファミレス。来て欲しいような、欲しくないような。
- 「武力行使反対」プラカードを持って駅前立ち一年。犠牲になるのはいつも市民。終わりのルールがない恐ろしさ。
- 「ワタシタチハニンゲンダ！」と外国人が叫ばざるを得ない国に住む私達。
- 「今日は休もう。明日、私が好きな私でいるために。」新聞全面広告に目留まる。3月8日、国際女性デーの朝。
- 東日本大震災から12年。原発再稼働賛成「過半数」報道。世論の危うさ。
- 2期目最後のニュース。次号目指す。